

東京災害ボランティアネットワーク

2019年度総会議案書

日時:2019年7月7日(日) 14:00~15:30

場所:東京都生協連会館3階会議室
(中野区中央5-41-18東京都生協連会館)

議案提案・審議内容

■2018年度活動報告	P02
■2018年度会計報告	P14
■2018年度監査報告書	P15
■2019年度活動計画	P16
■2019年度予算(案)	P20
■2019年度役員体制(案)	P21
■2019年度運営委員体制(案)	P21

<首都圏大災害に向けた具体的な対応策の検討について>

今後30年間に70%の確率で発生するといわれている首都直下地震をはじめ、首都圏での大災害を想定した被災者支援活動の具体的な対応策について、東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議の幹事団体として、またこれまで被災者支援活動を実践してきたネットワークとして、関係の各団体と連携しながら検討をしていきます。

東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議での取り組み

2014年7月に設立した東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議の幹事団体として、アクションプランの推進に積極的に関わっていきます。

<アクションプランにもとづく取り組み>

①多様な団体との連携に関する取り組み、②災害VC設置・運営支援事業、③被災情報・支援情報の収集と発信事業、④人材育成事業と、アクションプラン通り4つのカテゴリで取り組みを進めていきます。全ての事業において、アクションプラン推進会議の幹事団体(それぞれのネットワーク参加団体含む)や全体会参加団体、または地域の市区町村社協や関係のあるNPO・NGO団体と協働で実施することで、アクションプランが見据える災害時の被災者支援につながる関係づくりを進めていきます。

◇アクションプランにもとづく主な取り組み

- ①多様な団体との連携に関する取り組み
 - ◆都内の様々な団体同士が知り合える場づくり
 - ◆情報の収集と発信
 - ◆人材育成
 - ◆東京ならではの被災者支援に関わる平時・災害時のガイドライン作成
- ②災害発生後の仕組みづくりに関する取り組み
 - ◆東京都災害ボランティアセンターの役割・機能の検討ならびに対応計画の策定
 - ◆物資・資機材/助成に関する企業や関係団体との調整
 - ◆調査
- ③推進会議そのものに関する検討
 - ◆東京における民間団体ネットワーク組織体制のあり方の検討
 - ◆東京都・TVAC・市民活動団体等の定期的な意見交換の場の設置
 - ◆全国団体・他県団体との関係の強化

<アクションプラン推進会議 全体会/幹事会の開催>

アクションプランを推進するにあたり、事業推進のための情報収集、事業の推進状況の共有等を図るため、アクションプランに賛同する団体/協力いただいている団体を対象とした全体会を、アクションプラン推進会議幹事団体を対象とした幹事会を開催します。

- ◇全体会の開催： アクションプランの進捗状況の確認、企画検討/
各団体がおこなう災害ボランティア関連活動や防災・減災活動に関する情報交換
<参加者> 幹事団体、参加団体、アドバイザー、オブザーバー
<頻度> 年に4回実施
- ◇幹事会の開催： 第二期アクションプランの推進に関する進捗状況の確認および企画・検討
災害発生時の東京都災害ボランティアセンターの役割・機能に関する検討
東京における民間団体ネットワーク組織体制のあり方の検討

その他、第二期アクションプランや推進会議に関わる事項について

＜参加者＞幹事団体、アドバイザー、オブザーバー

＜頻度＞年に6回実施

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)での取り組み

2016年11月にNPO法人として発足したJVOADですが、現在は専任の事務局員を置いて、各県のネットワークや関係団体との調整を進めています。東京災害ボランティアネットワークは、運営委員団体のメンバーとして活動に参画していきます。

＜地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組み＞

例年と同様に、地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組みとして、講師派遣やプログラム提供を実施していきます。また、恒例となっている1.17イベントについても、2020年1月に開催します。

講師・プログラム派遣、委員派遣、委託事業等

講師・プログラム派遣、委員派遣、委託事業は、例年通り、各地域や団体/組織からの依頼を受けて実施していきます。

1. 17イベントの開催

2014年度、2016年度に開催した1.17イベントでは、シンポジウムを同時開催しましたが、2018年度はシンポジウムを開催することができませんでした。2019年度は、阪神・淡路大震災から25年(四半世紀)という節目でもあることを鑑みてシンポジウム等の同時開催を検討していきます。

＜被災者支援活動(交流活動)の取り組みについて＞

被災者支援活動は、東日本大震災(広域避難者支援活動)、伊豆大島土砂災害(復興支援活動)、三宅島噴火災害(訪問・交流活動)の3つの被災地での活動を中心に据えて活動していきます。

東日本大震災被災者支援活動

＜東日本大震災支援全国ネットワークへの参画＞

東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)の世話人団体の一つとして、JCNの取り組みに参画、および参加・協力します。特に広域避難者支援活動においては、都内での取り組みに対し、広域避難者支援連絡会in東京として積極的に参画していきます。

広域避難者支援活動(広域避難者支援連絡会in東京での取り組み)

＜定例会議の開催＞

連絡会の構成団体が集まり、情報交換や企画検討をおこなう

<広域避難者支援ミーティングin東京の開催>

避難者支援団体や避難当事者団体の交流・連携を促すための情報交換の場をつくる。誰もが参加できるオープン形式と、関係者で構成されるクローズド形式の二つの手法で実施する予定

<当事者団体との協働事業の実施>

◇2019年度当事者団体との協働プログラム「ふれあいフェスティバル」

日時:2020年1月or2月

場所:都内

内容:避難者と支援者による交流イベント

※これら当事者団体との協働事業を実施するにあたり、当事者団体と支援団体で実行委員会を設置し、企画・運営を担っていきます。

<その他>

2018年度同様のメールマガジンやホームページによる情報発信に加え、勉強会や当事者団体や関係団体・他県とのネットワーク作りにも力を入れていく予定です。

伊豆大島復興支援活動(大島復興交流プログラムの実施)

<大島復興交流プログラム>

日時:2019年秋

場所:伊豆大島

内容:大島福祉まつりと連動した企画

主催:大島復興支援東京ボランティアセンター

(構成団体)大島社会福祉協議会、国際協力NGOセンター(JANIC)、静岡県ボランティア協会、ジャパン・プラットフォーム、シャンティ国際ボランティア会(SVA)、東京ボランティア・市民活動センター、東京YMCA、日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会、東京災害ボランティアネットワーク

みやげじま<風の家>を通じた三宅島交流活動

<三宅島年末お掃除ボランティア活動>

日時:2019年11月後半~12月初旬 2回に分けて開催する予定

場所:三宅島

内容:お掃除ボランティア活動/島民による島内一周視察 等

主催:みやげじま<風の家>/東京災害ボランティアネットワーク

<情報発信>

2016年度、2017年度に取り組みなかった東災ポTIMESの定期発行(2ヶ月に一度)を目指します。なお、東災ポTIMESの内容や編集については、事務局会議や運営委員会で検討していきます。

<組織体制の強化>

事務局の体制が変わって5年目となる2019年度は、役員会を中心として、運営委員会、事務局会議等、組織体制の強化をはかります。上記活動計画(案)も、事務局員1人では実施が難しいこともあり、役員団体・運営委員団体の皆さまをはじめ、さまざまなご協力をお願いさせていただきたいと考えております。

特に、2018年度に、役員会で集中的に議論してきた東京災害ボランティアネットワークの今後については、継続的な活動をしていくことを前提として、2019年度は具体的に持続可能な組織運営のあり方を検討していきます。事務局体制の見直し、各種事業の効果的な取り組み方法、財政課題の解決等、多岐に渡ることとなります。少なくとも定期的な役員会、運営委員会、事務局会議が開催できるよう努力を続けていきます。